

船舶エンジンにおける排気ガス温度について

- (a) 船舶エンジンからの排気ガスの窒素酸化物 (NO_x) の減少量は、船舶エンジンの排気ガスの温度の減少量を計ることによって、実質的に証明されることができる。
- (b) 特にテスト船の試験結果によれば、「トランス・マスター」装置で処理された重油「A」による船舶エンジンの排気温度は、摂氏 14 度の平均温度まで下げられた。
- (c) したがって、上記の実験船の船舶エンジンでの排気ガスの窒素酸化物 (NO_x) の量が確実に大きく減少したと考えられる。
- (d) したがって、上記の船舶のテストデータによる燃料消費量の 5.2%の減少率は、通常の船舶エンジンの技術と科学と常識によって決して成し遂げられることができない。
- (e) そのため、船舶エンジンでシリンダーの内部に噴出される重油「A」の量が大いに減少したので、燃焼温度は減少した、そして、その結果、減少した排気ガスの温度が 14°Cに達したと考えられる。
- (f) 従って船舶エンジンにおいて窒素酸化物 (NO_x) の生成は大幅に低下したものと考えられる。

以上